

# 広報 いいたて 12

平成29年12月号 No.646 [www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)



大いなる田舎  
までいライフ  
いいたて

## 笑顔のひとときで元気を充電！ サポートセンター「つながっぺ」



【特集】

手を取り合って 皆で考えたい介護のこと

キミ子さんと会うと  
こちらが元気を  
もらいますよ！

できないところを  
手伝ってもらって  
助かっています



キミ子さんと介護ヘルパーさん  
2人のお話は次のページで

**村外事業所に  
協力を求めて**  
震災前、より質の高い介護  
サービスを目指し、先進的な  
取り組みを行っていた飯館村  
ですが、全村避難を経験しそ  
の影響は今も続いています。  
入居者の安全を第一に、避  
難をせず村内に残った特別  
養護老人ホーム「いたてホー  
ム」は、全村避難中も職員が  
避難先から通勤し、機能を維  
持してきました。しかし、欠  
員を補充する人材確保が十  
分に行えないため、新たな入  
居者を受け入れられない状  
況が続いています。  
「いたて在宅介護支援セ  
ンター」も、村内を拠点に、村  
と連携して業務を継続してい  
ますが、現時点では村内に介  
護事業所がないため、近隣市  
町の事業所に協力を求めて、  
帰村者のニーズに応える努力  
が続いています。

# 手を取り合って

## 皆で考えたい介護のこと

急速に高齢化が進む日本社会の課題として語られる「介護」のこと。拡大するニーズに人材確保が追いつかず、人手不足への対応も急がれています。その中で、長期の避難を経験した地域の原状回復は、いっそう容易でないのが実情です。村では、帰村する村民が安心して生活することができるよう、関係者の取り組みが一步一步進められているところです。

いいたて四季彩景 ● 深まる秋の「あいの沢」



あたり一面が紅葉に染まる晩秋の「あいの沢」。左手前に見えるのは宿泊体験館「きこり」。

### CONTENTS 目次

- 3 特集1 皆で考えたい介護のこと
- 10 復興を歩む 「赤蜻祭」
- 12 教育のページ 就学意向調査・全国学力テストほか
- 15 ほけんとふくし 百歳賀寿・すくすくイベント
- 16 特集2 ふくしま駅伝
- 18 報告のページ メモリアルホールいいたて
- 20 お知らせのページ 長泥地区の環境再生事業ほか
- 22 いいたて便り
- 24 つながるアルバム
- 26 お知らせ
- 27 入札結果
- 28 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 29 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 30 フォトストーリー いいたて村文化祭
- 32 ホープス / 編集後記

サポートセンター「つな  
がっぺ」の午後のひとと  
き。家電製品の変化や昔遊  
びを話題に、おしゃべりを  
楽しんでいました。皆さん  
の博識ぶりにびっくり。



●表紙のおはなし●

## いろいろな人の力を借りて何とかやっています

訪問介護のヘルパーさんには、週に1度来てもらっています。震災の時は、このように長引くとは考えずに、家族が分かれて避難をしたけれど、再び同居を考えた時に、2階建ての家で暮らすには、足腰が弱ってしまっていました。避難前からひざに痛みも抱えていたし、平屋に建て替えた村の自宅で暮らしたいと、家族に頼んだんですよ。そして今年の7月に帰ってきました。お嫁さんや娘が、食料品や日用品を買って、顔を見に来てくれます。新しく建てた家だから、どこかに泊まりに来ているような心細さはあるけどね。

福祉用具として、ベッドと、室内用・外出用それぞれの押し車を借りて、それも助かっています。外出用の押し車で、天気の良い日は散歩を欠かしません。ここは見晴らしがいいでしょ。携帯電話をたがえてね、途中で何度も休んで景色を眺めながら、ゆっくり散歩します。押し車は、川俣町にある事業所のデイサービスに行く時も持って行きます。家まで迎えに来てもらえるのでね。

デイサービスの他にも、週に1度、サポートセンター「つながっぺ」に行っています。1人であるから、人と話しに出かけないとね。体操や踊りを教えてもらったりして、先生から「笑ってごまかしてもOK!」と言われた時には「見つかっちゃったな」と思ったよ。あとは、地区のミニデイにも、参加させてもらっています。

「村に帰った」と役場に報告に行ったら、その後、村の地域包括支援センターの保健師さんがすぐに来てくれて、「これを利用してみたらどうでしょう」「これはあった方がいいですよ」としてもらいました。本当にありがたかったですね。



菅野キミ子さん  
(関根・松塚)

取材にうかがった日、幼馴染の三浦トメノさん（深谷ノ右端）が、キミ子さんを訪ねて来ました。「どうしているかなあと顔を見に来たの」



キミ子さんの所は、事業所のヘルパー3人で担当しています。主に室内の清掃とお風呂の掃除をさせていただいていますが、キミ子さんから要望があれば、途中で買い物をしてきて料理もします。キミ子さんは、積極的に行動されていて、自立した生活をがんばっています。こちらが元気をもらいますね。訪問すると、この1週間の間のできごとを、いろいろと話してくれるので、何に不便を感じているか、何がほしいかなども分かって、お手伝いもしやすいです。身だしなみもキレイにされていて、今日もとっても素敵ですね。

### 1週間分のお話を楽しく聞きながら



介護ヘルパー  
齋藤裕子さん  
訪問介護おてひめ  
(伊達市月舘町)

## 訪問介護

介護保険の居宅サービスの1つで、訪問介護事業所のヘルパーが利用者の自宅を訪れ日常生活のサポートを行います。

## 一歩一歩を積み重ねています

帰村した高齢者の方が利用できる介護サービスはまだ限られています。事業所との調整で、曜日や時間帯の条件を整えれば、村内でも訪問介護や訪問入浴などの居宅サービス（自宅にいながら受けられるサービス）を利用することができそうです。また、送迎が可能な地区では、村外のデイサービスを利用している人もいます。要介護度に応じて福祉用具の貸与を受けられることも可能です。

村地域包括支援センターや、いたて在宅介護支援センターのケアマネジャーなどが、必要に応じて訪問し、要介護認定の申請手続きの支援や、ケアプラン（介護サービスの計画書）の作成を行い、村内で利用できる介護サービスの再開を、可能な所から一つひとつ調整しているところです。

## 村地域包括支援センター

各自治体に設置されている地域包括支援センター。高齢者の暮らしを支援する地域の拠点として、多方面の機関と連携して、高齢者とその家族を総合的にサポートします。村の地域包括支援センターは、地域活性化センター「いちばん館」の中にあります。

## いたて在宅介護支援センター

各地に設置されている高齢者介護の相談窓口。高齢者やその家族からの相談に応じて、必要なサービスが受けられるよう、行政や事業所などとの間で調整を行います。高齢者が福祉サービスや介護サービスを受けるための申請の代行なども行います。

## 村内だけでもご利用いただけます

「訪問入浴」をご存知でしょうか。居宅サービスの一つで、身体や住環境などさまざまな理由で「お風呂に入れない」とお困りの方のご自宅に、スタッフがお湯を沸かすポイラーを積んだ車で訪問し、お部屋の中に簡易式の浴槽を設置して入浴していただくサービスです。

ご本人や介護者の負担軽減や、身体を清潔に保つ効果はもちろんですが、お風呂に入ると気持ちがすっきりして、生活意欲の向上につながります。会話を楽しんでいただきながら進めていきますが、お客様のお話は楽しく、また勉強にもなりますね。何よりも、喜んでいただけることが、私たちスタッフの喜びであり、一番のやりがいです。

ケアプランの中に訪問入浴を取り入れてみたい方は、担当のケアマネジャーに相談してみてください。



中山徹さん  
アースサポート福島  
(福島市)

## 訪問入浴

介護保険の居宅サービスの1つ。専門のスタッフが、移動入浴車で浴槽を利用者の自宅に運び入浴介助を行うサービス。

## 介護保険制度ってどんな制度？

「困ったな」「しんどいな」「大丈夫かな」と生活が不安になっても、住みたい場所で自分らしい生活を続けられるように、元気な時から制度の内容や相談窓口を把握しておけるといいですね。

社会福祉士  
谷川ひとみさん  
(福島市)



谷川社会福祉士事務所を開設し生活や福祉に関する困り事の相談を受け付けている谷川さん。研修講師としても全国的に活躍されていて、村でも職員の研修などでお世話になっています。

### 介護保険制度とは一

介護を必要とする人を社会全体で支え合うことを目的に、介護保険法は平成9年に制定されました（平成12年施行）。介護を必要とする人の生活を支援したり、介護する家族の負担を軽減したりする介護サービスを、社会の支え合いによって充実させていくことを目指しています。

### 制度の仕組み

介護保険は、40歳になった月から全ての人が加入し、保険料の支払い義務を負います。65歳以上の「第1号被保険者」は介護が必要であると認定されると、認定の程度に応じた介護サービスを受け、介護給付を受給することができます。40歳から64歳の「第2号被保険者」は特定疾病による要介護認定を受けた人のみが介護給付を受給することができます。

### 介護サービスを利用するには

まず村健康福祉課福祉係に「要介護認定」の申請をしましょう。「要介護認定」を受け、ケアマネジャーにケアプラン（介護サービスの計画書）を作成してもらい、サービスの提供を受けます。

## 成年後見制度ってどんな制度？

### 成年後見制度とは一

選任された後見人が、法律面や生活面で、本人が不利益をこうむらないよう支援を行うための制度です。家庭裁判所が後見人を選任する「法定後見制度」と、任意後見人が家庭裁判所選任の後見監督人の監督のもとで支援・保護を行う「任意後見制度」の2つがあります。

### 制度のポイント

もの忘れが起こりやすくなり、お金や通帳の管理や契約行為が難しくなった時に、生活に困らないよう利用できる制度で、悪徳商法などの消費者被害などからも保護されます。

### 制度利用の相談は一

制度の内容や手続きについて聞いてみたい方は、村健康福祉課福祉係または村地域包括支援センターにお問い合わせください。

もの忘れが起こりやすくなり、財産の管理や契約行為に不安が生じた場合、そのままにしておくと、生活にも困りますし消費者被害などにもあいやすくなります。支援の必要性を感じたら、村の福祉の窓口にご相談してみてくださいね。



- 認知症の気づきのポイント
- 同じことを何度も言う
  - 忘れ物や探し物が多くなる
  - 約束の日時や場所を間違える
  - 落ち着きがなくなり、怒りっぽく頑固になる
  - 単純な仕事や計算に時間がかかる
  - 料理を焦がすなど失敗が多くなる
  - 洋服に気を遣わず、同じ服ばかり着たり、だらしない格好や季節外れの格好が増える
- 右の初期症状が2項目以上当てはまる方は、認知症や前段階である軽度認知症（MCI）の可能性ががあります。

# 認知症を 知ろう

認知症は脳が様々な要因で障害を受け、認知機能が低下した結果、日常生活に支障をきたした状態です。脳の障害部位によって、「もの忘れ」だけではなくさまざまな症状が出現します。

### 認知症の人に接する時のポイント

#### 1 認知症を正しく理解する

認知症の症状に初めに気づき、誰よりも一番不安で苦しいのは本人です。周囲の人が認知症を正しく理解することは、認知症になっても尊厳をもって最期まで自分らしく過ごすことを支えます。

#### 2 「年のせい」にしない

認知症を引き起こす原因には治療可能なものもあります。早目に専門医療機関を受診し、適切な診断・治療をすることで、症状の進行を遅らせる可能性があります。

#### 3 家族だけで抱え込まない

認知症は誰でもなる可能性があり、家族だけでケアするのが難しい病気です。かかりつけ医や村の健康福祉課に相談をしましょう。様々な職種が連携することで、家族の負担を減らすことができます。

飯館村健康福祉アドバイザー（医師）  
小早川義貴 先生  
こはやがわよしたか



高齢者の約4人に1人が認知症か、その予備軍と言われるほど認知症は身近な問題になりました。患者さん本人や、ご家族がSOSを発しない場合もあります。様子がおかしいと気づいたら、ご本人やご家族に声をかけましょう。家族も患者さんに行動異常があると、困っていても周囲の人に相談をしにくいものです。声かけが難しい場合には、村の健康福祉課などに相談しましょう。地域全体で認知症を理解し、行動することが、患者さんにご家族を助けることとなります。

国立病院機構災害医療センター福島復興支援室に勤務しています。認知症対策は、本人・家族・行政・地域が総力を挙げて対応する必要があります。村では来年度より認知症初期集中支援チームを設置し、認知症対策を強化する予定です。

## お問い合わせや相談は

介護サービスを利用する場合、要介護認定や事業所との調整に一定の期間が必要です。また、村内で受けられる介護サービスについては、現在も事業所と調整をしながら進めている段階です。村内での利用を希望される方は、できるだけ早目にご相談を。ご希望と状況とを照らし合わせながら、介護される方・介護する方にとってよりよい方法を、一緒に考えていきましょう。

### 要介護認定について・介護相談全般

- ・村健康福祉課福祉係  
☎0244-42-1633
- ・村地域包括支援センター  
☎0244-42-1626

### 在宅介護についての相談

- ・村地域包括支援センター  
☎0244-42-1626
- ・いいたて在宅介護支援センター  
☎0244-68-2144

### 健康教室等の問い合わせ

- ・村健康福祉課健康係  
☎0244-42-1637
- ・村生涯学習課  
☎0244-42-0072

### 地域お助け合い事業について

※事業内容については広報いいたて6月号P8を参照ください

- ・村社会福祉協議会  
☎0244-42-1021

### サポートセンター「つながっぺ」について

- ・サポートセンター「つながっぺ」  
☎0244-26-5207

### お茶のみ会（村外）について

※日程については広報いいたてお知らせ版にも掲載しています

- ・村社会福祉協議会  
☎0244-42-1021



**サポートセンター「つながっぺ」**  
「いいたてクリニック」に併設されています。月曜日から金曜日の午前10時から午後3時まで開いていて、さまざまな活動を行っています。昼食代は1回500円。無料の送迎は行政区ごとに曜日が決まっています。事前の登録が必要ですので、利用を希望される方は、サポートセンター「つながっぺ」（☎0244・26・5207）までお問い合わせを。  
※要介護認定に関わらずどなたでもご利用いただけます



途絶えたりして、高齢者の心身の健康維持も大きな問題となりました。  
これからの介護は、そうした状況の変化にも対応していく必要があります。それには工夫や協力が、欠かせません。幅広い世代で関心を持ち、介護される人にも介護する人にも寄り添える地域力を取り戻していきたいですね。困った時こそ「お互いさま」で。

飯館村は、お年寄りがいきいきと暮らせる環境づくりを、積極的に進めています。地域のつながりも強く、生涯スポーツや文化活動も盛んで、家庭内にも地域にも、お年寄りの活躍の場がたくさんありました。ところが、6年間続いた避難生活の影響で、村の人たちの暮らしは大きく変わりました。避難で多世代家族の核家族化が進み、震災前の約1700世帯が、約3200世帯に分散しています。また、農作業ができなくなると体力が衰えたり、知人や地域との交流が

## 介護予防にも取り組もう

介護保険制度や介護サービスについて知ることはとても大切。その一方で、介護予防にも取り組みたいですね。すでに介護サービスを受けている方も含めて、現在の身体の機能を維持するための適切な運動などを、生活の中に上手に取り入れていきましょう。

村などが実施しているさまざまな健康増進事業や交流事業にも、ぜひ積極的にご参加ください。

### 村の介護保険料は 全国で2番目に高いのです

介護保険料の基準額は各自治体によって異なり、所得による違いもあります。現在の村の介護保険料は、全国で2番目に高い額になっています。避難による生活環境の変化で、介護サービスの利用が増加したことなどが影響していると見られます。

## 皆で考えよう これからの介護

誰もがいずれ、介護する人あるいは介護される人として当事者となる可能性があります。しかしながら、具体的に利用を意識するようになるまでは、介護保険制度「取っ組みし」でも「よく分からぬままに過ごしている方が少なくないのではないでしょうか。

# 復興を歩む

vol.32

## 赤蜻祭 せきしよまつり

11月4日、福島市飯野町にある飯館中学校の仮設体育館で、恒例の文化祭「赤蜻祭(せきしよまつり)」が行われました。来年度から村内の校舎で学校が再開されるため、この体育館での「赤蜻祭」は、今回が最後です。

東日本大震災を経験したのは、現在の3年生が小学2年生の学年末。川俣中学校の一部をお借りして新年度を迎え、平成24年度からは仮設校舎で学んできた生徒たちです。

今年の赤蜻祭は、村の公式キャラクター「イイタネちゃん」の架空の兄弟「イイハナ」「イイメ」「イイネ」に扮した生徒たちが、発表をつないでストーリー仕立てに進行。避難の中で育んできたふるさとへの愛着を、自然体で表現しました。

「ふるさと学習」の発表も充実しました。継続して取り組んできた「田植え踊り」は、今年新たに「小宮の田植え踊り」と、先輩から後輩へつないできた「飯樋町の田植え踊り」を、それぞれに正装で披露。集大成ともいえる発表で盛んに拍手を浴びました。

また、「母校」となった仮設校舎を模型で表現したり、村民が回答したアンケートの結果を分析したり、ふるさとへの思いを替え歌で歌い上げたり。映像やTV番組のパロディーを挿入するなどして、楽しい演出にもこだわりました。そして、全校生徒で暗唱した、宮沢賢治作「生徒諸君に寄せる」も圧巻でした。「むしろ諸君よ 更にあらたな正しい世界をつくれ」と高らかに声を張る群読は、生徒たちの決意のように響いて、観客の胸を震わせました。

フィナーレを迎え、生徒の1人は「村の新校舎で再スタートを切るためにも、これまでの恩返しをしたい」と語りました。頭上高く割られたくす玉からは、紙吹雪と共に「大成功！」の垂れ幕。会場は、一瞬に響き合った時間の熱気と余韻に包まれました。



気迫に満ちた演奏で会場を圧倒した特設和太鼓部。躍動的なバチさばきに熱い思いがほとばしります。今年のスローガン「響き合っていこう」を体現するような瞬間でした。多彩な発表の一つひとつに生徒の思いや絆の強さが表れていて、仮設校舎で積み重ねられてきた時間がここに結実したかのような素晴らしい赤蜻祭となりました。

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について

今年4月に行われた全国学力・学習状況調査（小学6年生、中学3年生対象）の結果をお知らせします。

### 小学校の学力結果について

#### 【国語】

- 成果は「話す・聞く能力」「書く能力」「関心・意欲・態度」：少人数教育のよさを生かして、一人ひとりの発言や発表の機会を増やしたり、きめ細かな指導を行ったりした結果だと考えられます。
- 課題は「読む能力」：「内容を正しく理解する力」「内容を整理したり要約したりする力」「読み取ったことをもとに、自分の考えを述べる力」などを高めるよう、指導の改善を図る必要があります。

#### 【算数】

- 成果は「知識・理解」「技能」：少人数教育のよさを生かし、一人ひとりの習熟度等に合わせたきめ細かな指導を行ってきた成果と考えられます。
- 課題は「数学的な考え方」：「文章題の題意を読み取る力」「多くの情報の中から必要な情報を選び、立式したり、表に整理したりする力」などを高めるよう、指導の改善を図る必要があります。

### 中学校の学力結果について

#### 【国語】

- 成果は「話す・聞く能力」「書く能力」「言語についての知識・理解」：国語で育んだ力を、ふるさと学習のプレゼンテーションやディベート学習などで活用を図っていることが理由として挙げられます。
- 課題は「読む能力」：「内容を正確に理解した上で、自分の考えを述べる力」などを高めるよう、指導の改善を図る必要があります。

#### 【算数】

- 成果は「知識・理解」：習熟度別学習を積極的に取り入れるなど、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導の成果であると考えられます。
- 課題は「数学的な考え方」「数学的な技能」：「与えられた条件を理解し立式する力」「なぜ、その様な答えや式になるのかを簡潔に説明する力」などを高めるよう、指導方法を改善する必要があります。

### 学習状況調査について

- 成果は「学習習慣」：幼・小・中で家庭の協力の下、メディアコントロールに取り組んでいることとも関係があると思われます。
- 課題は「規則正しい生活習慣が身に付いていない」「失敗を恐れる」「家庭で親と話す時間が短い」など

### 今後の改善策について

- ① 小中学校を通して、飯館型授業スタイルの徹底を図り、思考力・表現力・活用力などの向上を図る。
- ② 家庭学習に意欲的に取り組むことができるよう、方法や内容を工夫する。
- ③ 基本的な生活習慣を身に付けられるよう、大人が身をもって手本を示し、一緒に取り組む。
- ④ 家庭での子どもとの会話の時間を増やすと共に、子どもが前向きな気持ちになるような言葉掛けをより積極的に行う。

問 教育課学校教育係（本庁 ☎0244-42-1631）



▲来年4月からの学校再開に向け、学校施設の改修工事が進んでいます

### 一人ひとりが輝く教育を 村内学校再開に向けて

来年度、村内で再開する認定こども園、小中学校についてお知らせします。

### 村内学校に90人が就学意向

村教育委員会が行った就学意向調査の結果がまとまり、来年度村内学校に90人の就学が予定されています。

この調査は、来年度就学対象となる全児童・生徒420世帯742人に配布し、432人から回答が寄せられました。調査期間中には、教育委員会が中心となり、保護者説明会やPTA総会などで村外からのスクールバス運行や村教育ビジョンの説明が行われました。

### 飯館村 最終就学意向調査結果

飯館村教育委員会調べ 10月27日公表

認定こども園（0～5歳）	18人
小学校	28人
中学校	44人
合計	90人

### コシノヒロコブランド 制服デザイン

ファッションデザイナーのコシノヒロコさんデザインの認定こども園・小中学校の新制服が決定しました。

コシノさんは、震災後に部活動で使用するユニフォームを中学校に寄贈したり、小学校でワークショップを開いたりするなど多くの支援を寄せてくださっています。今回の制服もその支援の一環として村の子どもたちのために新しくデザインしていただいたものです。



▲(手前)認定こども園、(後左から右)小、中学生用

### 相農飯館校 再生協議

10月22日、県教育委員会は来年度の相馬農業高校飯館校の生徒募集停止を発表しました。

相農飯館校は、現在福島市の仮設校舎で県内唯一のサテライト校として授業を続けています。今後は、県教委が高校の在り方を検討するために国・県・村による協議会を設置するほか、村が「相農飯館校の再生を考える会」を設置し、新たな学校の形について検討します。

会では、新たな学校の形について有識者の意見を踏まえながら、様々な角度から検討していきます。



▲検討がはじまった相農飯館校

「家族のおかげですよ」  
菅野ツルノさん(比叡) 百歳賀寿



▲家族の皆さんと一緒に祝いの日を迎えました



菅野 ツルノさん (比叡)

長寿の秘訣

好き嫌いをしないこと。  
適度な運動をすること。

家族みんなで迎える  
100歳

11月18日、菅野ツルノさん(比叡)がめでたく100歳の誕生日を迎え、川俣町で百歳のお祝い百歳賀寿が行われました。菅野さんは、この日が来るのを楽しみにしていたようです。お祝いに駆けつけた家族や、県・村の関係者に「ありがとう、ありがとう」とこやかな表情を見せていました。



お母さんが作ってくれた  
スタイをつける佐藤一虎くん(3か月)



▲木のぬくもりある室内で、みんなでちくちく

ひと針、ひと針  
気持ちを込めて

11月15日、子育て支援センターですくすくで、会津木綿を使ったちくちくワークショップが行われました。参加した親子は、子ども用半袖シャツの模様付けや、スタイ(よだれかけ)を手縫いで作成。息子さん用にスタイを作った佐藤つばささん(伊丹沢)は「会津木綿の優しい色合いが素敵。大切に使用していきたいです」とあたたかい表情で感想を話しました。

会津木綿とは…

会津地方で古くから野良着などで広く使用されていた織物。最近では、美しい縞柄を生かした小物などが人気となっている。



▲自分で作ったおにぎりを口いっぱい食べる児童



▲杵と臼を使った「餅つき」を体験

新米いただきます

11月9日、草野・飯樋・白石小学校でいたてっ子収穫祭が開催され、全校児童が自分たちで田植え・稲刈りをしたお米でおにぎりなどを作り、とれたての新米を味わいました。また、JAから提供されたもち米で餅つきを体験。つきたての餅を雑煮、あんこ餅ときなこ餅にして口いっぱいに頬張りました。また、この収穫祭には、職場体験や授業でお世話になった方を招待し、児童が好きな具材を詰めたおにぎりを振る舞いました。



▲紙粘土は、絵の具で自分の好きな色に色づけ



▲保育参観当日、子どもも大人も笑顔です

やまゆり保育所  
最後の保育参観

11月18日、やまゆり保育所が川俣町の避難先での最後の保育参観を行いました。子どもたちは、季節の歌を家族の前で元気に歌ったり、紙粘土を使った花瓶を作ったりしながら嬉しそうな表情を見せていました。やまゆり保育所の機能は、来年4月から村内で開校する認定こども園に移ります。



▲紙粘土で使ったカラフルな花瓶を作りました



▲家族とふれ合う楽しい時間を過ごしました





若き選手を支える中学校教諭

16区 高橋良太選手

村チームの大きな力となっている中学生をまとめる高橋選手。今年からは浅野純平先生と朝7時から生徒と練習に取り組み、大会に臨みました。アンカー区間29位の走りでゴールテープを切りました。



14区 細杉利樹選手



11区 佐藤ちさと選手



15区 鴨原真琳選手



4区 佐藤優也選手



来年も村チームで、参加を

6区 監督 佐藤彰洋選手

「村単独で参加できていることに感謝。来年も笑顔で大会に参加したい」監督兼選手としての出場。次回大会では、選手としても良い結果が出せるように誓いました。

エースとしての責任を

10区 大内龍太郎選手

16回目の出場となった今大会。昨年誕生した息子の前で、区間29位の走りを見せました。「後輩の目標となるような選手を目指し、練習に取り組みたい」と次回大会への意気込みを話しました。



9区 大東かりん選手



5区 齋藤幸成選手



▲大会後の解団式では、支えてくれた村や家族、そして仲間への感謝と次回大会への抱負を語りました

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 総監督 林 英 滋 (濱田建設工業)      | 11区 佐藤ちさと (日本文化大1年) |
| 1区 嶋原明沙茄 (楸ノモト)         | 12区 大内 匡 泰 (楸菊池製作所) |
| 2区・主将 細 杉 睦 輝 (福島工業2年)  | 13区 佐 藤 浩 太 (福島自衛隊) |
| 3区 菅 野 茂 則 (消防飯館分署)     | 14区 細 杉 利 樹 (飯館中3年) |
| 4区 佐 藤 優 也 (松韻学園福島1年)   | 15区 嶋 原 真 琳 (飯館中3年) |
| 5区 齋 藤 幸 成 (川俣高1年)      | 16区 高 橋 良 太 (飯館中教員) |
| 6区・監督 佐 藤 彰 洋 (消防防災航空隊) | 浅野純平 (飯館中教員)        |
| 7区 神代優太 (飯館中3年)         | 高橋雅子 (村役場)          |
| 8区 高野政人 (飯館中2年)         | 飯畑友貴 (相馬消防)         |
| 9区 大東かりん (福島一中3年)       | 赤石澤 愛 (村役場)         |
| 10区 大内龍太郎 (飯館社協)        | 菅野龍聖 (福島工業1年)       |
|                         | 鈴木 拓 (飯館中2年)        |

11月19日、第29回ふくしま駅伝(市町村対抗県縦断駅伝競走大会)に村チームが全区間に単独チームでの出場を果たしました。選手募集、練習場の確保などの多くの課題を乗り越えての参加。選手は沿道からの声援を力に変え、力強い走りを見せました。



2区 主将 細杉睦輝選手



1区 嶋原明沙茄選手



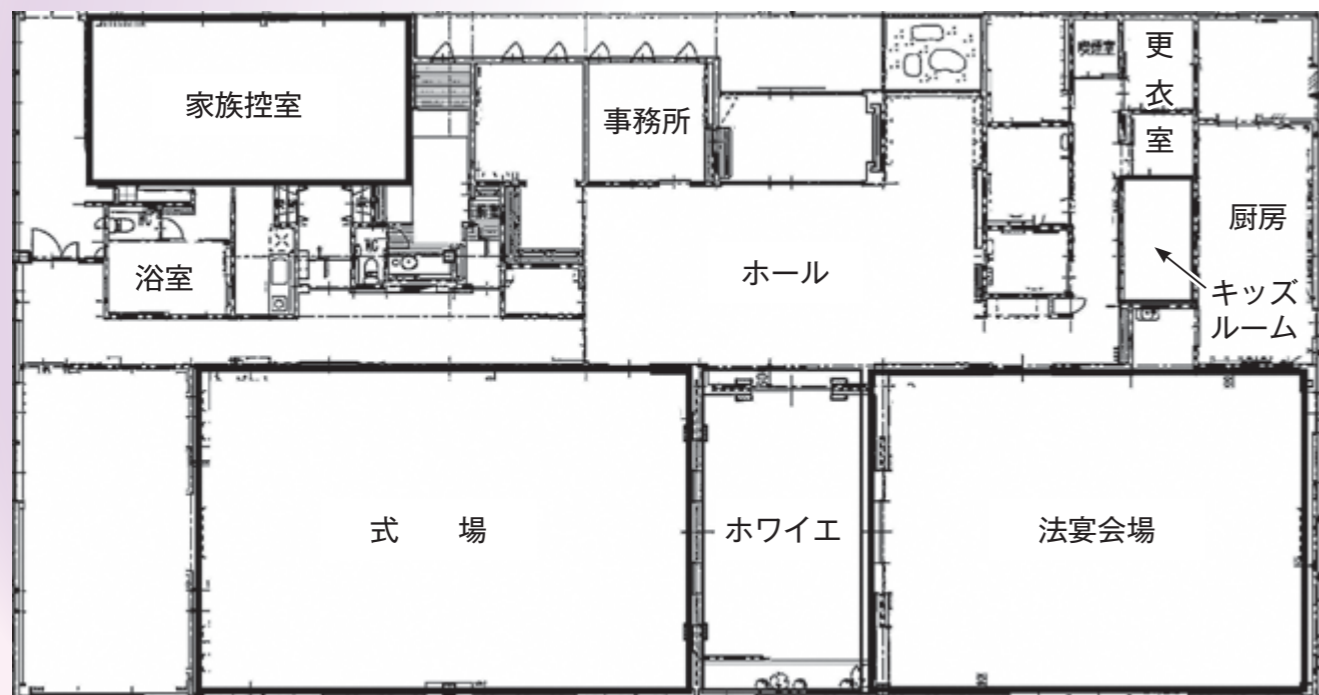
第29回ふくしま駅伝 飯館村 成績結果

タイム	6時間6分17秒
総合順位	52位
村の部順位	10位



▲スクリーン設備のある式場(左)と最大で100人が利用できる法宴会場(右上下)

収容人数 式場…108人(ホワイエ使用 最大150人) 法宴会場…64人(ホワイエ使用 最大100人)



葬儀所は、葬儀のほか、法要にも使うことができます。利用には施設の利用料金と葬儀・法要などの費用が別々にかかります。

ご利用を希望する場合、下記までご連絡ください。(運営を行うふくしま未来農業協同組合に電話が転送されます。)

**メモリアルホール いいたて**

- 住 所 … 飯舘村伊丹沢字伊丹沢834番地5
  - 利用料 … 通夜から告別式まで 1回30,000円 告別式のみ・法要のみ 1回20,000円
- ※葬儀費用などは、別途かかります。

問メモリアルホール いいたて (☎0244-32-1590)

**大切なときを  
メモリアルホールいいたて**

12月1日から、村内葬儀所「メモリアルホール いいたて」が開所し、村内での葬儀・法要などにご利用いただけるようになりましたのでお知らせします。



▲竣工式当日、テープカットで完成を祝しました

11月17日、メモリアルホールいいたての竣工式が現地で行われ、関係者らが完成を祝いました。式の中で菅野村長は「村の生活環境がまたひとつ整ったことを嬉しく思う」と完成を喜びました。完成した葬儀所の運営は、ふくしま未来農業協同組合が行います。また、葬儀所の用地、建物、備品購入には国の「福島特定原子力施設地域振興交付金」が使われています。

**家族、大切な方々とお過ごしいただけます**

施設の中には、浴室や湯沸し室を併設した家族控室、子ども用のキッズルーム・授乳室も整備されています。家族、親戚の皆さままでご利用いただけます。



▲家族控室



▲キッズルーム



▲湯沸し室



◀浴室

## 参加して、楽しくポイントゲット！ いいたて元気アップ・ポイント事業

生涯学習課が行う事業に参加することでポイントが貯まる「いいたて元気アップ・ポイント」をぜひ、ご利用ください。

1回(1日)1ポイントが貯まり、ポイント交換は年2回(11月・3月)になります。

詳しくは、生涯学習課までお問い合わせください。

- 生涯学習課主催の講座、教室(ヨガ教室、寄せ植え教室など)
- 読書活動(公民館図書・移動図書館車(こあら号)の本利用)
- スポーツ活動(青少年会館の施設開放、プール開放、スポーツ交流会等)
- その他、生涯学習課主催の各種事業

50ポイントを貯めた方へ、表彰状と記念品(5,000円分のクオカード)を贈呈します！

問 生涯学習課 (ふれ愛館 ☎0244-42-0072)



▲11月15日、50ポイント達成者が表彰を受けました



▲施設開放や各種事業は、お知らせ版などでお知らせします

## 年初めに、お返しを。

### 「いいたて村の年賀状、ありがとう」メッセージ 募集

平成29年11月1日から、全国の皆さんへの感謝と復興への決意を込めた村オリジナルデザイン年賀状が福島県内一部郵便局で販売中です。

そこで、村オリジナルデザイン年賀状を送った方・受け取った方から感想を募集いたします。年初めの贈り物「年賀状」に、素敵なお返しをしませんか。

- 募集内容… 平成29年11月1日から販売している村オリジナル年賀状を送った方・受け取った方から年賀状の感想を募集します。
- 提出様式・方法… 手紙・FAX・メールなど提出様式は自由です。
- 募集締め切り… **平成30年2月1日(当日消印有効)**
- 感想提出先

郵送 〒960-1892 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢 580 番地 1  
飯舘村役場 総務課企画係

FAX 0244-42-1601

☑ iitateweb@vill.iitate.fukushima.jp

問 総務課企画係 ☎0244-42-1613



応募いただいた方の中から、素敵な感想30名の方に村オリジナルデザインでぬぐい、60名の方には村オリジナル木製「牛」プレートをプレゼント！

プレゼント対象者の発表については、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。なお、ご応募いただいた感想は、飯舘村ホームページ・広報いいたてなどで公表させていただきます。

長泥地区において、  
環境再生事業で取り組むこと(一部)

- 村内の除去土壌を対象に土壌再生に取り組む。  
※実証事業から開始し、段階的に拡大。
- 長泥地区内に借地を行い、仮施設(再生資材化施設、資材置き場等)を設置する。
- 事業範囲の線量低減と土地造成を一体的に行う。



▲帰還困難区域の復興への連携が誓われました

### 除去土壌再利用へ 長泥 環境整備事業

11月22日、環境省・村・長泥行政区が、村の除染で生じた土壌の再生利用に長泥地区内で取り組んでいくことを相互確認し、これにより、長泥地区の環境再生・復興に向けた事業がスタートします。村内にあるフレコンバッグが長泥地区に搬入され、一定基準の放射能濃度で分別し、濃度の低い土壌を再生利用土として農地の土地造成に再利用することになります。

事業の開始について、伊藤忠彦環境副大臣は「環境省がこれまでに取り組んできた事業で得た知見を活かし、安心・安全に取り組んでいきたい」とあいさつ、鳴原良友行政区長は「長泥の復興がやっとならざることを、区として取り決めた」と復興への決意を語りました。

今後は、環境省・村・長泥地区住民との協議、有識者の意見を踏まえ事業が展開されていきます。



▲昨年は、中学校での交流が行われました



▲村が支援して建設したラオスのドンニャイ中学校の開校式

### ラオス交流 復興ホストタウン

11月17日、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて国が新設した「復興」ありがとう「ホストタウン」に、震災前から交流のある村が、ラオスとの交流先として選ばれました。

村が選ばれた「復興」ありがとう「ホストタウン」は、東日本大震災の被災3県(福島・岩手・宮城)の市町村が震災の際に支援を受けた国・地域の人たちと交流する際に、国が事業費の一部を支援するものです。

村では、平成21年に小学生を対象に出前授業を開催。ラオスが「お互い様」の精神を大切にしていることを学び、学校建設の支援を行ってきました。震災後は、ラオスからの義援金が村に届けられたり、村職員らが現地の開校式に駆けつけたりしながら交流を続けました。今後は、ラオスの子どもたちを村のイベントや学校行事に招待し、陸上競技に関する講演や指導などの交流事業を行う予定です。

## 年賀状発売開始に合わせて 村の広告付き年賀状をPR



セレモニーに招かれた菅野村長。年賀状を購入した人に記念品を手渡し日頃の感謝も伝えました

11月1日、来年のお年玉付き年賀ハガキが全国一斉に発売となり、村のメッセージ広告付き年賀ハガキも、県北・相双地域の郵便局で、販売がスタートしました。福島中央郵便局の販売開始セレモニーには、菅野村長が招かれ、先着50人の購入者に、村産イチゴを使った紅茶のティーバッグをプレゼントしました。村の年賀ハガキは、支援への感謝と復興に向けた思いをこめたデザインで、定価より5円安い1枚47円。限定30万枚を、好評発売中です。P21の関連記事もご覧ください。

## 森林組合などから道の駅へ 県産材の木製品を寄贈



木製品をお披露目する(左から)佐藤組合長・菅野村長・秋元会長・船本勝農林中央金庫福島支店長

11月2日、「いいいて村の道の駅までい館」に、県産材を活用した木製品の寄贈がありました。この寄贈は、農林中央金庫が中心となって実施している復興支援プログラムによるもので、村森林組合(佐藤長平組合長)、県森林組合連合会(秋元公夫会長)が、同金庫と連携して行いました。寄贈されたのは、県産材を使った木製ベンチ10台とパンフレットスタンド2台。どちらも美しい木目を生かしたデザインで、木をふんだんに使った道の駅の雰囲気にもマッチしていました。

## ヨガ教室は大好評 基本の呼吸から学びました



ヨガマットの上で、姿勢と呼吸を意識しながらポーズを作っていきます。写真は11日のようす

11月11日と25日の2回にわたり、交流センター「ふれ愛館」で、村主催の「ヨガ教室」が開かれました。ヨガインストラクターの千葉留美子さんを講師に迎え、9人の女性が受講しました。教室では基本の呼吸を教わり、インストラクターに合わせて動いていきます。無理せず自分の体と相談しながら動くことが大切なのだそう。肩こりを改善する動きなどでは「楽になった」と喜びの声も。いきいきとした表情で、ヨガの心地よさを体験した皆さん。「今後も続けてほしいなあ」と話していました。

## 避難先の友情の証 そっくりの彫像にびっくり!

福島市成川の信夫雇用促進住宅に避難していた大久保岩男さん(宮内)。住宅に近い手作りの公園を、避難者らの交流に提供していた矢吹武さんと知り合いました。「大変お世話になりました。毎日のラジオ体操に始まり、春は花見、夏は盆踊りと交流の機会をいただきました」と大久保さんは振り返ります。家族と共に相馬市に転居することになった大久保さんをモデルに、矢吹さんは、趣味の彫刻で頭像を製作。惜別の手紙を添えて、大久保さんに贈ってくださったそうです。



激似の頭像と大久保さん。「体調が許せば帰村して、いただいた作品も、再建する自宅に飾りたい」

## 松塚地区の太陽光発電所が いよいよ竣工となりました

10月24日、松塚地区で、「F飯館太陽光発電所」の竣工式が行われました。この発電所は、株式会社NTTファシリティーズが地区と契約して建設・運用するもので、村内最大規模です。式には一法師淳社長ら同社の関係者、高橋文男区長や地権者などが出席しました。一法師社長は「農地を保全しクリーンエネルギーを拡大する意義ある事業」と竣工を喜び、菅野村長も「収益の一部を村の基金に入れていただく。農業振興ははじめ復興事業に活用したい」と期待を寄せました。



発電所前でテープカットに臨む関係者。右より3人目から、一法師社長・菅野村長・高橋区長

## 東北電力から「きこり」に 花いっぱいプレゼント

東北電力福島営業所(渡辺隆夫所長)の皆さんが、宿泊体験館「きこり」で、パンジーやビオラ約800株を植えてくださいました。これは同所による「いいいて村おかえりなさいプロジェクト」の一環です。「何かできることは皆で考えながらやっています」と渡辺所長。飯館分署と連携し高齢者宅の電気設備の点検なども行っていただいています。「きこり」の佐藤峯夫支配人は、手際の良い作業ぶりに感心し、「震災前も花があふれていた場所。ありがたい」と感謝を伝えていました。



所員25人で1株ずつプランターへ移植。設置や清掃までいいいてに行っていました



分署の署員の指導で放水訓練に臨む参加者たち

秋季火災予防運動に合わせた消防訓練が、「いたて村の道の駅までい館」で行われました。この訓練には、村消防団幹部と村役場消防隊が参加。施設内の消防設備を確認し、飯館分署の指導を受けて放水訓練を行いました。また、道の駅の職員も、初期消火の訓練に参加。さらには、署員による救出訓練も行われ、各参加者が、緊急時の対応や連携について確認しました。



開業時間前の道の駅。実際に放水し訓練しました

飯館村消防団  
&  
村役場消防隊



ふくしま  
再生の会



会員は全国に約300人います。田尾理事長の報告



佐須地区での取り組みを報告する佐藤公一行政区長



深谷行政区



やまゆり保育所



村森林組合の協力で間伐材をチップに加工します

深谷地区の住民グループ「フォレ飯館」が、村民の森「あいの沢」で、遊歩道やキャンプ場周辺の清掃・枝打ち・間伐や、散策道へのチップ播きなど、里山の景観形成に配慮した活動を行っています。これは、里山に携わることから「手仕事づくり」「健康づくり」を図る村の事業の一環で、「森林山村多面的機能発揮対策事業」を活用し、今年度から初めて実施しているものです。



週2回の活動。「回数を増やしたい」と積極的な声も

「やまゆり保育所」のミニ運動会が、保育所のホールで行われました。芋掘りを模したチャンス走やカード合わせ、障害物走、リレーなど、手作りのアイテムを駆使したプログラムに、子どもたちは夢中。どの子も全力で、競技を楽しんでいました。先生方も一人ひとりの頑張りを拍手やハイタッチで応援。閉会式では、キラキラのメダルも掛けてもらい、子どもたちは大満足の表情でした。



元気いっぱい張り切って運動会を楽しみました



工夫いっぱいの競技にワクワク！笑顔がこぼれます

# 入札結果をお知らせします

入札日／7月3日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
第14号 井戸掘削(ボーリング)工事(飲料水安全確保支援事業)(比曾字下比曾地内)	3,672,000円	庄建技術(株)	平成29年10月中旬
第15号 井戸掘削(ボーリング)工事(飲料水安全確保支援事業)(比曾字中比曾地内)	3,672,000円	庄建技術(株)	平成29年10月下旬
第16号 井戸掘削(ボーリング)工事(飲料水安全確保支援事業)(飯樋字八和木地内)	3,672,000円	庄建技術(株)	平成29年10月中旬
第1号 帰還再生生活道路整備工事(前田字福田地内)	17,820,000円	濱田建設工業	平成29年11月中旬
第2号 帰還再生生活道路整備工事(前田字豊栄地内)	13,662,000円	(有)渡建工業	平成29年11月中旬
第3号 帰還再生生活道路整備工事(前田字広平地内)	14,580,000円	(株)英工務店	平成29年10月下旬
飯樋町裏線側溝補修工事(飯樋字町地内)	1,522,800円	(株)東栄	平成29年10月下旬
第1号 村道除草業務(村内一円)	1,933,200円	(株)東栄	平成29年10月下旬
第1号 村有施設草刈業務(1)(伊丹沢字伊丹沢地内)	4,546,800円	大藤造園(株)	平成29年10月下旬
第2号 村有施設草刈業務(2)(草野字大師堂地内外)	5,508,000円	濱田建設工業(株)	平成29年10月下旬
第3号 村有施設草刈業務(3)(白石字田尻地内外)	5,886,000円	(株)英工務店	平成29年10月下旬
第4号 村有施設草刈業務(4)(伊丹沢字山田地内外)	1,080,000円	(有)福相建設	平成29年10月下旬
第5号 村有施設草刈業務(5)(飯樋字町地内外)	7,020,000円	(有)渡建工業	平成29年10月下旬
第6号 村有施設草刈業務(6)(深谷字市沢地内)	4,590,000円	濱田建設工業(株)	平成29年10月下旬
第1号 河川除草業務(小宮～草野地内)	14,472,000円	(有)渡建工業	平成29年12月下旬
第2号 河川除草業務(草野～松塚地内)	13,392,000円	濱田建設工業(株)	平成29年12月下旬
第3号 河川除草業務(松塚～二枚橋地内)	14,104,800円	(株)英工務店	平成29年12月下旬
第4号 河川除草業務(小宮地内)	16,524,000円	(有)福相建設	平成29年12月下旬
第5号 河川除草業務(飯樋地内)	16,524,000円	横山建設工業(株)	平成29年12月下旬
第6号 河川除草業務(草野地内)	10,821,600円	(株)東栄	平成29年12月下旬
第7号 河川除草業務(蔵平～比曾地内)	9,720,000円	滝建設工業(株)	平成29年12月下旬
第8号 河川除草業務(飯樋地内)	4,320,000円	(有)福相建設	平成29年12月下旬
農道大森線改良舗装工事(深谷字大森地内)	42,660,000円	(有)福相建設	平成29年12月下旬
第1号 営農再開支援水利施設等保全事業(飯樋西部その1)用排水路施設等保全工事(関根・松塚地内)	29,808,000円	濱田建設工業	平成29年12月下旬
第2号 営農再開支援水利施設等保全事業(飯樋西部その1)松塚中堰補修工事(松塚字麦搗地内)	27,000,000円	日本自動機工(株)東北支店	平成29年12月下旬
第1号 営農再開支援水利施設等保全事業(飯樋西部その1)松塚上堰補修工事(松塚字麦搗地内)	23,544,000円	日本自動機工(株)東北支店	平成29年12月下旬
第1号 農業基盤整備促進事業(深谷地区)農業基盤整備測量設計業務(深谷字原前地内)	27,000,000円	(有)御堂測量設計事務所	平成30年2月下旬
公用車購入(建設課)	2,837,160円	飯樋自動車工業	平成29年7月下旬
飯樋小学校ポンプ棟改築工事設計業務	1,080,000円	(株)清水公夫研究所	平成29年9月下旬
仮設幼稚園建築確認申請業務	1,026,000円	(株)システムハウスアールアンドシー福島支店	平成29年8月下旬
飯樋中学校産業廃棄物等処理業務	2,268,000円	(有)福相建設	平成29年8月上旬
飯樋村スポーツ公園整備工事監理業務委託発注者支援業務	8,262,000円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成30年3月下旬



## お知らせ

### いいたて新春 村民のしんぶん

新春村民の集いが、村内に戻ってきます。家族、友人、お誘い合わせの上、お越しください。新しい年を、村で祝いましょう。詳しくは、同封チラシをご覧ください。

**開催日時**  
平成30年1月21日  
午前9時30分 開場  
午前10時 オープン  
**会場** 交流センター「ふれ愛館」



「わんだフルまでい大使」  
村出身災害救助犬じゃがいも君もやってくる!



### プログラム

- 午前9時30分 開場
- 午前10時 オープニングセレモニー  
10大ニュースの発表  
小学生合唱ステージ
- 午前11時 パフォーマンス書道  
飯樋お母さんコーラス  
さとう宗幸さんコンサート
- 午後0時15分 豪華景品が当たる!  
大抽選会
- 45分 おひらき

問 総務課企画係(本庁 ☎ 0244-42-1613)

### 11月の村の動きと主なできごと

- 1日・村の広告付き年賀状 発売開始(相及び県北地方の郵便局)
- 2日・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(飯野支所)
- 6日・相馬農業高校飯樋校の在り方に関する検討協議会(福島県庁)
- 9日・第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会壮行会交流センター「ふれ愛館」
- 11日・ふくしまフェスタ@メガウェブ特産品販売(東京都メガウェブトヨタシティショウケース)
- 12日・長泥地区復興事業住民説明会(地域活性化センター「いちばん館」)
- 14日・第4回事務改善委員会・行政機構改革検討委員会(村役場本庁)
- ・秋季火災予防運動に係る消防訓練(いいたて村の道の駅までい館)
- 15日・第3回認定こども園教職員採用並びに運営等検討委員会(村役場本庁)
- 17日・メモリアルホールいいたて 竣工式(伊丹沢地区現地)
- 18日・菅野ツルノさん 百歳賀寿(川俣町)
- 19日・第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)出場(白河市・福島市)
- 21日・第11回議会臨時会(村役場本庁議場)
- ・第6回学校運営協議会(飯樋中学校)
- ・第3回農業委員会の新制度移行準備委員会及び提言書の提出(村役場本庁)
- 22日・第11回農業委員会定例会(村役場本庁議場)
- ・定例教育委員会(村役場本庁)
- 27日・笑顔つなぐまち交流事業(福島市・飯坂温泉)
- 29日・第5回事務改善委員会・行政機構改革検討委員会(村役場本庁)

志賀 三男さん (蕨平)



蕨平行政区長。震災前は専業農家。牛の人工授精を行う資格を持ち、JAそうま和牛改良組合長も務めていました。現在は伊達市に住んでいます。

震災前の蕨平地区では、専業農家や林業に携わる人が、かなり少なくなっていました。後継者不足が進んでいて、高齢者だけの世帯も多くなっていましたね。我が家は数少ない専業農家の1軒で、稲作や畜産をやっていたので、私は牛の人工授精も携わっていました。

村内の企業に勤めていた息子は、震災の年の3月末で退職し、農家を継ぐことになっていました。それに合わせて新しい牛舎を建てたのですが、それが完成する前に、震災がやってき

ました。14頭いた親牛は、全て処分。その時の、県や全農との話し合いも大変でした。私の家は、地震の揺れで土壁が落ち、ブルーシートで応急処置をしていましたから、次第に傷んで床も抜けてしまい、避難するだけで、泊まれません。今は解体が終わったばかりで、再建はまだ決まっています。

蕨平に、除染廃棄物の減容化施設を造りたいという国の話を聞いた時は、どういう施設なのかも分からないし、「危険じゃないのか」「なんで蕨平なんだ」ともやってみたいけど、これからの話しかつてもいいです。

自分の今後についても、考えるのはこれから。いつかまた、声がかれば、牛の人工授精の仕事もやってみたいけど、

反対の声があがりました。けれど、それから環境省との話し合いが何度かあって、安全性についても徐々に理解が進んだところで、住民の1人が言ったんです。「反対ばかりでは前に進めない。引き受けたらいい」とね。村内に候補地が3か所あり、他の2か所では受け入れられなかった。「やむなし」と心が決まったんです。「復興のためだ」と皆が納得し地区として受け入れることができました。

そもそも蕨平は、昔から横のつながりの強いところで、皆家族みたいなものだった。ほた餅作れば、隣近所におすそ分けしたりしてね。「までの心」の典型かも知れない。地区の規模が小さいから、助け合いながらやってきたんだね。それがバラバラに避難して、それでも年に2、3回は集まって、将来のこと、地区としてどうしたらいいか、意見を交わしてきた。解決策はなかなか出てこないけれど、これからの話しかつてもいいです。

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

おしえてくんちえ！堀先生

相談 もうすぐ、年の瀬。身も心もバタバタしてしまいそうで…。

堀先生

今年ももう12月です。これから年の瀬に向けて忙しくなり、充実した思いで過ごされる方もたくさんおられるでしょう。そんな時の私たちは、「現在」に没頭しています。私たちは時々、「過去」にとらわれることもあります。一年を振り返って、自分を責めたり悔やんだりするかもしれません。これも良い将来を創るための学びとして大切です。このように私たちは「現在」や「過去」にとらわれやすいのですが、時には「良い未来」を想像して、来るべき2018年を迎える準備を進めるのはいかがでしょうか。未来から現在の自分を眺めてみましょう。



精神科医 堀 有伸 先生  
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで

こころのぽけっと

「前例がない」を「大きなチャンス」に

昔、ヨーロッパの家電メーカーでこんな話があったそうです。3人の営業マンに対し社長が「冷蔵庫を世界に売りたいのだが、どこにターゲットを絞ったらいだろうか」と。すると、1人は「やっぱり先進国でしよう」と。もう1人は「熱帯地域じゃないでしょうか」と。3人目の営業マンは「私はシベリアの寒冷地だと思えます」と答えたそうです。

3人目の答えが予想外だったので社長が「どうして？」と尋ねたところ「寒冷地に住む人は、肉食を好むはずなので外に肉をおいては、カチンカチンに凍るし、家の中においては暖房がきているのですぐ腐ってしまう。その点、冷蔵庫があれば凍ることも腐ることもないので必ず売れると思います」と。その結果、冷蔵庫はシベリアで飛ぶように売れたそうです。

2人の靴のセールスマンが砂漠に行った時、「誰も履いていません。売れるはずがありません。」と報告したセールスマンに対し、もう1人は「誰も履いていません。必ず売れます。すぐ送ってください」と言ったという話はつとに有名な話です。つまり、ノーという現象や悲観的なことを前例にこだわらず、前向きに考えると以外と道が開けるといえることがあるということでしょう。

前例がない、この全村避難。大変な災害から何か新しいものを得ようとする、事が進んだり、道が開けるといえることがあるはず。前例がないこの災害を、少しでもチャンスにしたいものですね。

平成29年11月20日 飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
高橋 慶 仲くん	和徳・あゆみ	関根・松塚
佐藤 朱 李くん	雄我・愛	二枚橋・須萱
菅野 結 月ちゃん	翔太・絢香	草野
小林 あおいちゃん	光平・めぐみ	飯樋町

すくすくと元気に育ってね



おくやみ

氏名	年齢	行政区
杉岡 亨	87	小宮
中川 貞子	88	宮内
菅野 進一	67	関沢
圓谷 福義	68	蕨平
赤石沢 強	52	草野
高橋 正三	63	白石
高野 ヨシ子	90	小宮
佐久間 正	80	深谷
佐藤 八ギノ	84	大倉

ご冥福をお祈り申し上げます

(10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

10月1日～31日までの人口動態	
人口	今月 (前月比)
男	2962人 (-3)
女	2972人 (-9)
計	5934人 (-12)
世帯数	1811戸 (+4)
転入	5人
転出	8人
出生	4人
死亡	4人



いいたてフラクラフ



飯館中学校 (田植え踊り)

イイタネちゃん

までい大使 (司会)  
菅原美智子アナウンサー



閉会セレモニー



草野・飯樋幼稚園



草野・飯樋・白石小学校



総合文化展 (村長賞)



子ども広場

フォトストーリー 第34回いいたて村文化祭

# 未来へつながろう

10月28日・29日の2日間にわたり、交流センター「ふれ愛館」で、「いいたて村文化祭」が開催されました。子どもからお年寄りまで幅広い世代が出品した「総合文化展」には、創造性豊かな作品が並びました。また、音楽や舞踊、伝統芸能の披露やステージの催しも充実。特別ゲストのお笑いコンビ「母心」の漫才も、皆で大笑いして楽しみました。2日間の来場者は、のべ1100人。たくさんの方の笑顔が交流し、文化の秋を満喫しました。



いいたて愛 (よさこい踊り)



母心 (漫才)



# HOPES

ホープス セカンド

2nd

「いたてクリニック」の建物に併設されているサポートセンター「つながっぺ」で、この10月から働き始めた美郷さん。同じ生活支援相談員の先輩と共に、帰村した家庭への訪問活動をしています。「お宅を訪問して、生活の困り事などいろいろなお話を聞いています。帰り際には『ありがとう』『また来てね』と声もかけていただいで、うれしくなりますね」。

訪問と合わせて、「つながっ

## 「つながっぺ」へようこそ

庄司 美郷さん (前田・八和木)



今年の10月から、サポートセンター「つながっぺ」で生活支援相談員として勤務。サロンの送迎や帰村した家庭への訪問を担当しています。



1日の活動が終了すると、送迎車や利用者の自家用車をスタッフが見送ります。11月は書道や民謡に親しんだり、二本松の菊人形を見に遠足に出かけたりもしました。

「つながっぺ」のサロンのお知らせも配布しています。サロンは平日の午前10時から午後3時まで。自分で来れる方は毎日でも利用できますが、送迎は地区ごとに曜日が決まっています。「送迎にうかがうと、『わざわざありがとう』『悪いわね』と言ってくださいますが、それが私たちの仕事。ぜひ利用してくださいと伝えていきます」。

一度来てみたら楽しくなると、通うようになる人もあるそうです。「登録をして、まず一度お試して来ていただけたらと思います」。寒くなれば運動不足にもなりがち。サロンでは軽運動などにも体調に合わせて行えます。

美郷さんが仕事を始めるにあたって、「大変じゃなかったら、やってみたら」と背中を押してくれたのがご主人。3人の娘たちも、家事を手伝いながら、新しいチャレンジを応援してくれています。家族の応援を背に、利用者さんや訪問先に笑顔を届ける毎日です。

### 〈編集後記〉

●「走る選手の姿を見ていたら涙が出そうだ」ふくしま駅伝スタッフの当日の言葉です。駅伝取材はスタートからゴールまでの同行取材。今年も多くの課題を乗り越えて出場した村チームに取材兼エールを送りました。駅伝は、選手家族スタッフの力があつてのこと。皆さん、本当にお疲れさまでした。来年の力走も期待していますー(木幡)

●介護や介護予防の現場におしゃまして、年を重ねた皆様の含蓄のあるお話を聞き、優しく触れ、その暮らしを支える側のお仕事の意義深さにも心を動かされた今号では人の力が不可欠。ニーズが高まる中での人材確保は本当に大変だとも実感しました。月館の介護事業所「おてひめ」が村内の訪問介護を始めた経緯には村出身の管理者・長正浩明さんの「地元の方に」という思いがあつたそう。たくさん思いが重なって歩一歩が生まれていることを改めて思いました。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。